

**一般選抜・社会人特別選抜・推薦入試の受験者は  
本冊子（専門科目）に解答すること。**

2025年度  
武庫川女子大学 大学院  
看護学研究科 看護学専攻  
修士課程【前期募集】入学試験

**専門科目 問題解答用紙**

**一般選抜・社会人特別選抜・推薦入試**

2024年 10月5日（土） 9:30～11:30

解答時間 120分：「英語」と「専門科目」と合わせて

**解答方法**

- 1 辞書等の持ち込み不可
- 2 問題解答用紙は、全部で9枚である。問題は各用紙に1問あり、第1問から第9問の全9問である。脱落のあった場合は申し出ること。
- 3 **一般選抜の受験者**：全9問のうち、**2問**を選択し解答すること。  
**社会人特別選抜の受験者**：全9問のうち、**3問**を選択し解答すること。  
**推薦入試の受験者**：全9問のうち、**3問**を選択し解答すること。  
**看護学研究保健師コースの受験者**：「**第1問**」を必ず選択すること。  
  
※ 選択した問題解答用紙には、用紙右上の所定欄に○をつけること。  
※ 一般選抜の受験者が3問以上、社会人特別選抜の受験者・推薦入試の受験者が4問以上選択した場合は、全ての解答を無効とする。
- 4 解答した問題解答用紙においては、受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 5 解答は、問題解答用紙の所定欄に記入すること。  
※所定欄以外（裏面）に書かれた解答は、無効とする。

**注意事項**

- 1 机上に各自の「受験票」を出しておくこと。
- 2 本冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 3 試験終了後、全ての問題解答用紙を回収する。問題解答用紙を持ち帰らないこと。



辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目（第2問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ （いずれかに○をつけて下さい）） 分野		
受験番号		氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 （いずれかに○をつけて下さい）

**第2問**

問1 エスター・L・ブラウンは、1948年に全米看護委員会の依頼を受け看護事業や看護教育に関する大規模な実態調査を行い、その調査報告内容を「これからの看護（Nursing for the future）」（通称：ブラウンレポート）にまとめている。この報告書では、看護教育の方向性について述べられているが、どのような背景からどのような看護教育が必要であると述べられているのか説明せよ。

問2 日本看護協会では2023年から「看護師のクリニカルリーダー（日本看護協会版）」を拡張し、看護師に求められる能力の全体像を新たに作成し、看護師が看護実践を行うための4つの能力「専門的・倫理的・法的な実践能力」「臨床実践能力」「リーダーシップとマネジメント能力」「専門性の開発能力」を示している。この4つの能力について、それぞれ具体的に説明せよ。

	解答欄
専門的・倫理的・法的な実践能力	
臨床実践能力	
リーダーシップとマネジメント能力	
専門性の開発能力	

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第3問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第3問**

次の事例を読み、問いに答えよ。

【入院までの経過】Aさん(30歳、女性)は、23歳の時に統合失調症と診断され、今回が2回目の入院である。入院前は単身生活を送っており、時々、近所に住んでいる姉がAさんの様子を見に来ていた。Aさんは就労継続支援B型(以下、就労支援と略す)の事業所に週4回通い、お菓子製造の仕事をしていた。本人の希望により、1ヵ月ほど前から就労時間を1日3時間から5時間に増やしたが、疲労がみられるようになった。2週間前から「ざわざわする...」「人の声がずっと聞こえる」「自分の悪口を言っている」等、幻聴や不安を訴えるようになり、就労支援の事業所に通えなくなった。姉に頻繁に電話をかけ、夜も眠れない状態が続いたため、姉に付き添われて精神科病院を受診し、任意入院となった。

【入院後の経過】入院後、薬物療法が開始され2ヵ月が経過し、Aさんの幻聴の症状は軽減し、夜も眠れるようになった。日常生活は自立しており、最近作業療法に参加している。Aさんは仕事が好きで、絵が上手である。自ら進んで他者と関わることは少ないが、礼儀正しく、人を思いやる行動がみられる。今回の入院前を振り返り、Aさんは「お菓子作りが好きで、だから仕事を頑張ってたかった。」と話していた。看護師との対話のなかで、就労支援の事業所で他の利用者からの頼みごとを断ることができず、一人で抱え込んでいたこと、仕事の疲労のため夕食がとれない日があったこと、それが原因で内服ができなくなったことが明らかとなった。Aさん自身は、今回の入院の原因を「悪口が聞こえてきて不安になったから。」と話している。Aさんは再び就労支援の事業所で仕事することを希望しており、現在、退院に向けて準備を進めている。

問1 一般的に統合失調症では、「陽性症状」や「陰性症状」、「認知機能障害」が生じる。「陰性症状」「認知機能障害」の具体例を2つずつ述べよ。

	具体例
陽性症状	例) 幻聴、幻覚など
陰性症状	
認知機能障害	

問2 Aさんの統合失調症が悪化した要因を4つ述べよ。

問3 Aさんが回復していくうえでのストレングスと考えられることを6つ述べよ。

問4 Aさんが入院している病棟の看護師として、Aさんの退院後の目標とそのためにより必要となる入院中の支援を2つ記せ。

退院後の目標	
入院中の支援	1)
	2)

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第4問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ （いずれかに○をつけて下さい））分野		
受験番号		氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 （いずれかに○をつけて下さい）

**第4問**

次の事例を読み、問いに答えよ。

Aさん（32歳、初産婦）は産褥2日目の褥婦であり、妊娠39週4日で正常経膈分娩した。新生児は2980gの男児で、アプガースコア1分値9点、5分値10点であった。Aさんの産後の子宮復古状態、新生児の胎外生活への適応は順調であった。産褥1日目の看護記録には、昼食後から母子同室が始まったこと、Aさんは授乳時に肩に力が入り、児の抱き方がぎこちなかったことが記載されていた。

問1 一般的な褥婦の正しいポジショニング（Positioning、抱き方、授乳姿勢）の観察の視点を4つ書け。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

問2 一般的な新生児の適切なラッチオン（吸着）の観察の視点を4つ書け。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

問3 Aさんの授乳の状況を踏まえ、授乳をすすめるうえで必要な看護援助を4つ書け。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

【9枚中の4枚目】

第4問	採点	
-----	----	--

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第5問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第5問**

次の事例を読み、問いに答えよ。

Aちゃん（3歳、女児）は、父親、母親、兄（5歳）と暮らしており、兄と同じ保育園に通っている。Aちゃんは、指示されなくても衣服を着ることができ、自分の姓名を言うことができる。片足とびやボール遊びができる。お人形遊びが好きで、入院中も人形を抱っこしている。野菜が嫌いであるが、リンゴゼリー、プリンなど口当たりのよい食べ物はよく食べる。Aちゃんは生後9か月時に、インフルエンザ罹患による発熱によって熱性けいれんを発症した。熱性けいれんをきっかけとして、その後、全般発作（強直間代発作）を繰り返すようになり、てんかんと診断された。抗てんかん薬の内服開始後、全般発作は現れずにコントロールできていたが、全般発作（強直間代発作）がみられ入院となった。

問1 熱性けいれんの特徴について3つ述べよ。

- 1)
- 2)
- 3)

問2 Aちゃんが病院内で全般発作（強直間代発作）を発症した際の、看護師としての対処を3つ述べよ。

- 1)
- 2)
- 3)

問3 今回の入院では、抗てんかん薬の調整を行うこととなり、看護師がAちゃんと両親に抗てんかん薬の説明をすることとなった。説明すべき内容と留意点をそれぞれ述べよ。

	説明すべき内容	留意点
Aちゃんへの説明		
両親への説明		

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第6問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ （いずれかに○をつけて下さい）） 分野		
受験番号		氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 （いずれかに○をつけて下さい）

**第6問**

脳梗塞とその看護について、問いに答えよ。

問1 脳梗塞の代表的症状を2つ、下記に記せ。

脳梗塞の代表的症状	①	②
-----------	---	---

問2 脳梗塞は、発生機序によって以下の3つに分類される。各分類の病態を記せ。

分類	病態
血栓性	
塞栓性	
血行力学性	

問3 脳梗塞の二次的合併症を4つあげ、それぞれの合併症を予防するための介入方法を記せ。

脳梗塞の二次的合併症	その合併症を予防するための介入方法
①	
②	
③	
④	

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第7問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第7問**

次の事例を読み、問いに答えよ。

A さん（67 歳、男性）は、遠位部胆管がんと診断を受け、膵頭十二指腸切除術目的で入院となった。身長は 170 cm、体重は 58 kg（入院時）である。既往歴はない。手術時は全身麻酔に硬膜外麻酔を併用し、術後は硬膜外 PCA（Patient Controlled Analgesia：患者自己調節鎮痛）にて疼痛管理を行う予定である。なお、硬膜外より投与する予定の薬剤は、局所麻酔薬（0.2% ロピバカイン）とオピオイド（フェンタニル 5µg/ml）である。

術後 1 日目午前、第一歩行のため端坐位を試みたが、A さんは強い痛みを訴え身体を起こすことができず離床を延期することとなった。

問 1 手術時に全身麻酔に硬膜外麻酔を併用する先制鎮痛（先取り鎮痛）を行う主な理由を 3 つ述べよ。

問 2 PCA（Patient Controlled Analgesia：患者自己調節鎮痛）を用いる利点を述べよ。

問 3 看護師として、術前の A さんに疼痛管理に関するオリエンテーションを実施する際、どのような内容を説明する必要があるか。表の各項目について、具体的な内容を述べよ。

オリエンテーション項目	具体的内容
疼痛管理の原則	
疼痛管理の方法	
疼痛を評価する方法	
鎮痛剤使用に関する患者の不安への対応	

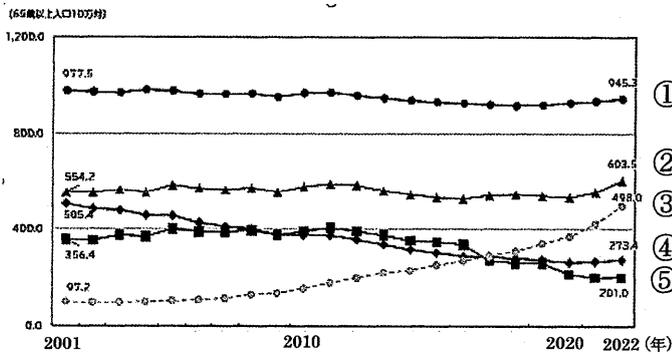
問 4 術後 1 日目、強い痛みを訴えている A さんについて、アセスメントが必要な事項を具体的に 2 項目述べよ。

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第8問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース（ （いずれかに○をつけて下さい））分野		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 （いずれかに○をつけて下さい）	

第8問

問1 このグラフは令和6年版高齢社会白書に記載されている2001年から2022年までの一般的な主な死因別死亡率の推移（65歳以上の者）である。グラフ中の数字に当てはまる死因を右の空欄に記せ。



①	
②	
③	
④	
⑤	

出典：内閣府、令和6年版高齢者社会白書 [https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/06pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/06pdf_index.html)

問2 次の事例を読み、転院後2週間経過した時点におけるAさんについて、1) および2) に答えよ。

Aさん（90歳、女性）は夫と二人で暮らしていたが、食事中に突如呂律がまわらなくなり、左上下肢の脱力感を訴えた後、意識消失し急性期病院へ救急搬送となった。検査の結果、右中大脳動脈領域の脳梗塞と診断され、薬物療法（rt-PA）が実施された。発症後10日目に急性期病院から介護老人保健施設へと転院した。転院時の状態は、左片麻痺残存のため自力で体位変換や体位の保持をすることができず、2時間おきの体位変換を実施していた。食事に関しては、嚥下障害があり姿勢保持が難しく、全介助を要する状態であった。発汗が多く、便失禁と尿失禁もみられるため、定期的にオムツ内の確認をしていた。転院後2週間経過し、Aさんは、車いすに座り、一部介助を要するが自身で軟飯食を経口摂取できるようになった。

1) 介護職から看護師に「オムツ交換時に、Aさんの仙骨部に10cmの圧迫しても消退しない発赤があることに気づいた」と報告があった。Aさんの褥瘡の深達度（NPIAP/EPUAP）\*と深達度に応じたスキンケアの具体的な方法を述べよ。  
\* 米国褥瘡諮問委員会 National Pressure Injury Advisory Panel / 欧州褥瘡諮問委員会：European Pressure Ulcer Advisory Panel

①深達度：

②スキンケアの方法：

2) Aさんは、食事中うまく飲み込めずに時々むせることがある。日によって、食事時間は40分以上かかることもあり、途中でうとうとすることも多い。Aさんの食事摂取について、具体的な看護を2つ述べよ。

①

②

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第9問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ （いずれかに○をつけて下さい））分野		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 （いずれかに○をつけて下さい）	

**第9問**

次の事例を読み、問いに答えよ。

わが国では、新型コロナウイルスの流行や頻発する自然災害の影響を受けて、令和3年度介護報酬及び令和4年度の診療報酬の改定において、「A」の策定が義務付けられた。「A」は、感染症の流行や自然災害などの非常時においても、重要な業務の中断を最小限に抑えるか、中断しても迅速に復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画である。

訪問看護を利用しているBさんは、55歳の男性で、妻（50歳、主婦）と長男（24歳、会社員）の3人暮らしである。

Bさんは3年前に筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。徐々に身体機能が低下し、半年前に気管切開下で人工呼吸器を装着し、胃瘻を造設した。現在は、日常生活動作（ADL）は全介助を要し、ベッドから車椅子への移乗はリフトを使用している。意思是、まばたきでyes/noの表示を行うことができる。訪問看護では2か所の事業所と連携をとり、体調管理や呼吸管理、半固形化栄養剤の注入、薬剤や排便による排便コントロール、陰部洗浄などを実施している。

その他、訪問診療、訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリテーション、福祉用具等を利用している。

問1 「A」に当てはまる語を述べよ。

問2 訪問看護を利用している在宅療養者において、災害時に特に支援が必要となる者はどのような病状や状態の者が、3つ挙げよ。

問3 訪問看護を利用している在宅療養者は、「災害関連死」のリスクが高い人々と位置付けられている。その理由について、2つ述べよ。

問4 Bさんの災害時対応として、訪問看護師が行う支援について、「平常時」「超急性期（発災～72時間）」の時期ごとに具体的に5つ述べよ。

1) 平常時

2) 超急性期

**一般選抜・社会人特別選の受験者は  
本冊子（英語）に解答すること。**

2025年度  
武庫川女子大学 大学院  
看護学研究科 看護学専攻  
**修士課程【前期募集】入学試験**

**英語 問題解答用紙**

**一般選抜・社会人特別選抜**

2024年10月5日（土） 9:30～11:30

解答時間 120分：「英語」と「専門科目」と合わせて

**解答方法**

- 1 貸与した辞書のみ持ち込み可
- 2 問題解答用紙は、全部で2枚である。問題は各用紙に1問あり、第1問と第2問の全2問である。乱丁・落丁があった場合には申し出ること。
- 3 **一般選抜の受験者**：「第1問」・「第2問」全てに解答すること。  
**社会人特別選抜の受験者**：「第1問」・「第2問」のうち1問に解答すること。  
※ 選択した問題解答用紙には、用紙右上の所定欄に○をつけること。  
※ 社会人特別選抜受験者が2問とも解答した場合は、全ての解答を無効とする。
- 4 解答した問題解答用紙においては、受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 5 解答は、問題解答用紙の所定欄に記入すること。  
※所定欄以外（裏面）に書かれた解答は、無効とする。

**注意事項**

- 1 机上に各自の「受験票」を出しておくこと。
- 2 本冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 3 試験了後、全ての問題解答用紙を回収する。問題解答用紙を持ち帰らないこと。

貸与した辞書のみ持ち込み可

科 目	英 語 ( 第 1 問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。		
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)			
受験番号		氏 名		一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)

## 第 1 問

問 1 次の英文を読んで、問いに答えよ。

Refugees and migrants are a diverse group and have a variety of health needs, which may differ from those of the host populations.

Refugees and migrants often come from communities affected by war, conflict, natural disasters, environmental degradation or economic crisis. They undertake long, exhausting journeys with inadequate access to food and water, sanitation and other basic services, which increases their risk of communicable diseases, particularly measles, and food- and waterborne diseases. ①They may also be at risk of accidental injuries, hypothermia, burns, unwanted pregnancy and delivery-related complications, and various noncommunicable diseases due to the migration experience, restrictive entry and integration policies and exclusion.

Refugees and migrants may arrive in the country of destination with poorly controlled non-communicable diseases, as they did not have care on the journey. Maternity care is usually a first point of contact with health systems for female refugees and migrants.

②Refugees and migrants may also be at risk of poor mental health because of traumatic or stressful experiences. Many of them experience feelings of anxiety and sadness, hopelessness, difficulty sleeping, fatigue, irritability, anger or aches and pains but for most people these symptoms of distress improve over time. They may be at more risk of such as depression, anxiety and post-traumatic stress disorder (PTSD) than the host populations.

Refugee and migrant health are also strongly related to the social determinants of health, such as employment, income, education and housing.

1) 下線部①を和訳せよ。

2) 下線部②を和訳せよ。

問 2 次の英文を読んで、問いに答えよ。

The COVID-19 pandemic has brought an increased risk of infection and death for refugees and migrants. People on the move may have limited tools to protect themselves such as social distancing, hand hygiene and self-isolation are often not possible.

①The pandemic has highlighted existing inequities in access to and utilization of health services. Refugees and migrants have also suffered the negative economic impact of lockdown and travel restrictions. Income loss and health care insecurity may have particularly affected labor migrants. ②They may have also experienced legal and social insecurity caused by the postponement of decisions on migration status or a reduction of employment, legal and administrative services.

1) 下線部①を和訳せよ。

2) 下線部②を和訳せよ。

出典 : WHO. (2022). Refugee and migrant health (Fact sheets).

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/refugee-and-migrant-health>

貸与した辞書のみ持ち込み可

科目	英語（第2問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第2問**

次の英文を読んで、問いに答えよ。

According to the 'Preliminary Results of Birth and Death Statistics in 2020,' published by Statistics Korea, there were 272,337 births in 2020. ①In 2020, the number of births fell below 300,000 for the first time in South Korea. This year, a decline was observed in the values of both crude birth rate (CBR\*, 5.3) and total fertility rate (TFR\*\*, 0.84), as compared with those in the previous year. Meanwhile, Korea recorded 305,100 deaths per year, which was higher than the number of births, making it the first year in which the population growth rate was recorded as negative.

②In 1983, the TFR decreased to less than 2.1, which is the fertility rate required to maintain the population. It has continued to fluctuate below 1.3 since 2001 and had further decreased to < 1.0 for the first time in 2018. Korea entered a low fertility society (below 2.1) at a rate of 1.74 in 1984 and entered the lowest-low fertility society (less than 1.3) at a rate of 1.18 in 2002. ③The average TFR of the World Organization for Economic Co-operation and Development (OECD\*\*\*) countries decreased from 2.84 in 1970 to 1.77 in 1995, with it standing at 1.61 in 2019. In 2019, Korea recorded the lowest TFR among OECD countries (0.92). In the 2000s, the Korean government implemented several measures to overcome the low fertility rate in society by preparing the 1st (2006–2010), 2nd (2011–2015), and 3rd (2016–2020 including revisions for 2019) Plan for Aging Society and Population\*\*\*\* in Korea. The final goal of the plan for the aging society and population was to achieve a TFR of 1.5 by 2020. Despite these efforts, the policy to overcome a low fertility society has failed. Accordingly, the 4th plan for an aging society and population (2021–2025) was announced, and it is currently in progress by modifying the goals and methods.

注) \* : CBR (crude birth rate) : 出生率                      \*\* : TFR (total fertility rate) : 合計特殊出生率  
 \*\*\* : OECD (Organization for Economic Co-operation and Development) : 経済協力開発機構  
 \*\*\*\* : Plan for Aging Society and Population : 低出産・高齢社会基本計画

問1 下線部①を和訳せよ。

問2 下線部②を和訳せよ。

問3 下線部③を和訳せよ。

問4 第1次から第3次までの低出産・高齢社会基本計画の最終目標とその結果について、英文の記述にしたがい、それぞれ具体的に述べよ。

1) 最終目標

2) 結果

出典 : Jungha Yun et.al (2022). Birth Rate Transition in the Republic of Korea: Trends and Prospects, Journal of Korean Medical Sciences, 37(42), e304.



**一般選抜・社会人特別選抜・推薦入試の受験者は  
本冊子（専門科目）に解答すること。**

2025年度  
武庫川女子大学 大学院  
看護学研究科 看護学専攻  
**修士課程【後期募集】入学試験**

**専門科目 問題解答用紙**

**一般選抜・社会人特別選抜・推薦入試**

2025年 2月 15日（土） 9:30～11:30

解答時間 120分：「英語」と「専門科目」と合わせて

**解答方法**

- 1 辞書等の持ち込み不可
- 2 問題解答用紙は、全部で9枚である。問題は各用紙に1問あり、第1問から第9問の全9問である。脱落のあった場合は申し出ること。
- 3 **一般選抜の受験者**：全9問のうち、**2問**を選択し解答すること。  
**社会人特別選抜の受験者**：全9問のうち、**3問**を選択し解答すること。  
**推薦入試の受験者**：全9問のうち、**3問**を選択し解答すること。  
**看護学研究保健師コースの受験者**：「**第1問**」を必ず選択すること。  
  
※ 選択した問題解答用紙には、用紙右上の所定欄に○をつけること。  
※ 一般選抜の受験者が3問以上、社会人特別選抜の受験者・推薦入試の受験者が4問以上選択した場合は、全ての解答を無効とする。
- 4 解答した問題解答用紙においては、受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 5 解答は、問題解答用紙の所定欄に記入すること。  
※所定欄以外（裏面）に書かれた解答は、無効とする。

**注意事項**

- 1 机上に各自の「受験票」を出しておくこと。
- 2 本冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 3 試験終了後、全ての問題解答用紙を回収する。問題解答用紙を持ち帰らないこと。

2025 年度 武庫川女子大学大学院 修士課程【後期募集】入学試験 問題解答用紙

辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目 ( 第1問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)	

第1問

表1は、令和4年度の年齢階級・対象疾患別の特定医療費（指定難病）受給者証所持者数の総数と、そのうち、特定医療費（指定難病）受給者証所持者数の上位5疾患である。以下の問いに答えよ。

表1 年齢階級・対象疾患別 特定医療費（指定難病）受給者証所持者数（上位5疾患）

	総 数	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
総数	1,048,680	5,519	55,949	80,157	133,851	172,930	183,918	133,846	282,510
パーキンソン病	143,267	4	17	138	1,109	5,598	19,866	26,688	89,847
全身性エリテマトーデス	65,145	222	4,833	8,746	14,408	14,923	10,529	5,211	6,273
後縦靭帯骨化症	31,571	0	27	255	1,728	4,554	6,727	5,511	12,769
クローン病	50,184	617	8,948	11,054	12,404	9,818	4,369	1,405	1,569
潰瘍性大腸炎	141,387	1,154	15,089	21,816	30,396	30,318	21,285	9,610	11,719

問1 表1について、各疾患における後期高齢者の割合を小数点第一位まで算出せよ。

パーキンソン病 \_\_\_\_\_ 全身性エリテマトーデス \_\_\_\_\_ 後縦靭帯骨化症 \_\_\_\_\_  
 クローン病 \_\_\_\_\_ 潰瘍性大腸炎 \_\_\_\_\_ 総数 \_\_\_\_\_

問2 表1および問1の結果からわかることを6つ読み取り述べよ。

問3 A市に一人で居住するパーキンソン病患者のBさん（男性、70歳）は、A市の難病相談会に来所し、振戦があるため日常生活に困りごとが多い、どのように工夫したらよいか、と訴えた。A市の看護職として、あなたが行う看護実践を4つ述べよ。

出典：厚生労働省 令和4年度衛生行政報告例（令和4年度末現在）

辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目 ( 第2問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第2問**

経腸栄養法は、生理的な栄養摂取経路のため利点がある。経口摂取が不可能な患者の場合には、患者の状態を評価した上で、経管栄養法の方法を選択することがある。経管栄養法には、経鼻胃管栄養や経鼻経腸栄養、胃瘻栄養、腸瘻栄養などがあり、栄養状態の改善が期待される一方、患者にとって不快な身体症状や合併症が起こる場合もある。

問1 経管栄養法によって起こりうる不快な身体症状や合併症を4つあげ、その不快な身体症状などが特にどのような原因で発生するのか述べて。まず①～④に1つずつ身体症状や合併症などをあげ、それぞれ2つの主な原因を簡単に説明せよ。

	不快な身体症状や合併症	主な原因 (それぞれ2つ)
①		
②		
③		
④		

問2 経管栄養法実施中の患者において、上記記載の①～④の不快な身体症状などを予防するために行う看護上の留意点を以下に説明せよ。

- ①
- ②
- ③
- ④



辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目 ( 第4問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号		氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)

**第4問**

問1 「1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標」として、「合計特殊出生率」が用いられるのはなぜか。「合計特殊出生率」を「出生率」と対比させながら説明せよ。

問2 表1は人口動態統計の「妻の平均婚姻年齢(初婚時)」と「第1子出生時の母の平均年齢」の年次推移である。以下の問いに答えよ。

表1 「妻の平均婚姻年齢(初婚時)」と「第1子出生時の母の平均年齢」の年次推移

年次	1950年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
婚姻年齢(歳)	23.0	24.4	24.2	25.2	25.9	27.0	28.8	29.4	29.7
第1子出生時の年齢(歳)	24.4	25.4	25.6	26.4	27.0	28.0	29.9	30.7	30.9

1) 表1から読み取れることを2つ挙げよ。

- ・
- ・

2) 1) で読み取ったことがもたらす女性のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスに関わる問題を3つ、「～による○○」、「～から生じる○○」(○○には問題が入る)のように、原因を示しながら述べよ。

- ①
- ②
- ③

3) 2) の①～③の問題に対して、看護職が行う支援を1つずつ記せ。

①の問題：

②の問題：

③の問題：

辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目 ( 第5問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第5問**

K 君 (7 歳、男児) は最近多飲多尿が目立つようになり、小児科を受診したところ、1 型糖尿病の疑いがあり、精密検査を目的に入院した。入院時のバイタルサインは、体温 36.8℃、脈拍 104/分、血圧 100/60mmHg であった。入院時の検査データは①随時血糖 480mg/dL、HbA1c9.1%、尿糖 4+、②尿ケトン体 3+、血液ガス分析 pH7.02 であり、1 型糖尿病と診断された。

問 1 入院時の K 君の下線部①および②の検査データを解釈し、どのような状態であるかを述べよ。

・下線部①：

・下線部②：

問 2 問 1 のアセスメントの結果、入院時に観察する症状を 3 つ述べよ。

( ) ( ) ( )

問 3 K 君への食事療法のポイントを 2 つ、理由も含めて具体的に述べよ。

- ・
- ・

問 4 K 君への運動療法のポイントを 2 つ、理由も含めて具体的に述べよ。

- ・
- ・

問 5 学校関係者と K 君・家族、医療従事者が情報共有すべき内容を 3 つ述べよ。

- ・
- ・
- ・

辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目 ( 第6問 )	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース ( ) 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)	

### 第6問

次の事例を読んで、以下の問い(問1~3)に答えよ。

Aさん(59歳、男性)は会社役員で、妻と長男の三人暮らしである。慢性膵炎の急性増悪で入院歴がある。数週間前より、口渇感と倦怠感、体重減少、灰白色で水に浮く下痢便がみられた①。症状が続くため受診し、腹部CTの結果、膵管内の膵石、膵全体に分布するびまん性の石灰化を認めた。また、血液検査で血清アミラーゼの上昇、血糖値の上昇、C-ペプチドの低下がみられた②。

問1 上記の下線部①の症状と下線部②の検査所見について、それぞれどのような原因で起こっていると考えられるか、アセスメントせよ。

①

②

問2 Aさんは入院治療により症状は軽快傾向にあるが「下痢がまた続くと、つらい」と訴えられ、病院食(膵臓食)の摂取量は1、2割程度である。Aさんに対して特に注意が必要と考える観察ポイントとその理由について、具体的に2つ述べよ。

観察ポイント	理由

問3 Aさんは「お酒はやめようとずっと思っているが、仕事の付き合いで勧められると飲んでしまう。ちょっとぐらいなら大丈夫と思って」と話された。退院にあたり、看護師としてどのような支援がAさんに必要と考えるか、具体的に2つ述べよ。

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第7問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース・看護学研究保健師コース（ （いずれかに○をつけて下さい））分野		
受験番号	氏名	一般選抜・社会人特別選抜・推薦入試 （いずれかに○をつけて下さい）	

**第7問**

次の事例を読んで問いに答えよ。

Aさん、81歳女性。身長153cm、体重56kg。2年前に突然血尿がみられ、膀胱がんと診断された。2度の経尿道的手術を施行したが、再発を認めたため、今回全身麻酔にて膀胱全摘回腸導管造設術を受けることとなった。8年前に脳梗塞の既往があり、左上下肢は軽度の痺れがある。日常生活には支障がない。術前問診において、家族から最近物忘れがみられるようになったと情報があつた。術前の血液検査では、軽度の貧血を認めている。入院時（術前）は、「どこに何があるかわからない。ちゃんと覚えないとね。」と話され、落ち着かない様子であった。ストーマサイトマーキング時には、「ここから尿が出てくるなんて怖い」「自分の体じゃないみたい」といった発言もみられた。性格について、本人は「明るい」「前向き」と話される。客観的には、やや神経質な部分があり、責任感が強い側面もある。

手術直後から、悪心が強く、制吐剤（メトクロプラミドメシル塩酸塩）を使用している。悪心と疼痛のためにあまり睡眠がとれていない。術後1日目の夜間に、自身で末梢静脈カテーテルを抜いてしまい、「こんな所にはおかしくなるわ。そろそろ家に帰ろうと思います。」と話し、荷物の整理をしているところを発見する。

問1 Aさんの手術後のせん妄について、せん妄の3つの因子（準備因子、直接因子、誘発因子（促進因子））に該当する情報を、2つずつ記せ。

	1つ目	2つ目
準備因子		
直接因子		
誘発因子 (促進因子)		

問2 問1で記載した2つの誘発因子（促進因子）について、記載した因子と対応させながら、Aさんのせん妄に対する具体的な援助内容をそれぞれ述べよ。

1つ目の誘発因子に対する援助	
2つ目の誘発因子に対する援助	

問3 回腸導管を造設したAさんにおいて、術後に生じる可能性のあるストーマの早期合併症を2つ示せ。また、各合併症について、それらの早期発見や予防のために必要とされる具体的な観察項目と看護援助をそれぞれ述べよ。

ストーマの早期合併症	必要とされる観察項目および看護援助

辞書等の持ち込み不可

科 目	専門科目（第8問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望の コース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース（ （いずれかに○をつけて下さい））分野		
受験番号	氏 名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 （いずれかに○をつけて下さい）	

### 第8問

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

Aさんは85歳の女性である。夫とふたり暮らしであったが、昨年夫が亡くなり現在は独居である。子どもは息子がひとりいるが、他府県に住んでおり年に1度程度しか会うことはなく、日ごろのやり取りもほとんどない。専業主婦として家庭を支えながら、若い時から趣味で編み物をしており、家族や友人にプレゼントするのを楽しんでいたが、手先が思うように動かなくなり、自分で納得のできる作品を作れなくなったことから、2年前にやめてしまった。家事も得意で料理を作ることも好きであり、友人を食事会に招くこともあったが、夫が亡くなってからは張り合いがなくなり、近所のスーパーに買い物には行くが、出来合いのもので済ませている。高血圧症で月1回、近医を受診しており、血圧は安定している。また、月に数回、近所に住む友人と一緒に出かける等していたが、夫の死後は友人からの誘いも断るようになり、買い物と受診以外は家で過ごしており、元気がない様子である。閉じこもりを心配したAさんの友人から、地域包括支援センターに相談があった。地域包括支援センターの看護職が担当地区の巡回の際に訪問すると、Aさんからは「生きていても仕方がない」や「もう何もできない」との発言があり、精神的に不安定な状態であった。ADLとIADLには特に問題はなく、身の回りのことは自立している。面談の終わり頃には気持ちが落ち着き、「前を向いていきたい」との発言もみられた。

問1 人は生涯にわたり発達し続けるが、人生の各期に応じた課題があるとされている。Aさんは85歳であるため、老年期の課題に向き合っている段階と考えられる。エリクソン (Erikson, E.H) は、老年期の課題として「統合」対「絶望」があり、それを乗り越えて得られる徳は「英知」であるとしている。

1) 以下のそれぞれの語が表している状態について、Aさんの事例の中で該当する部分に触れながら具体的に説明せよ。

(1) 絶望 : despair

(2) 統合 : ego integrity

2) Aさんの発達課題をふまえ、地域包括支援センターの看護職としてどのような関りができるか、支援の方向性について述べ、具体的な支援内容を2点述べよ。

(1) 支援の方向性 :

(2) 具体例①

具体例②

問2 Smith, J.Aは4つの健康モデル（臨床モデル、役割遂行モデル、適応モデル、幸福論モデル）を示し、幸福論モデルについては「衰弱、元気がなく無気力（不健康）→はつらつと健やかか（健康）」の健康→不健康の連続体として、両極が特徴付けられる形で定義した。幸福論モデルにおけるAさんの今の健康状態について、根拠を3つ示しながら説明せよ。

辞書等の持ち込み不可

科目	専門科目（第9問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ・ 推薦入試 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第9問**

次の事例を読み、問1～3に答えよ。

Aさん（74歳女性）は、半年前に脳梗塞を発症し、緊急入院後、急性期病院での治療を経て、現在は回復期リハビリテーション病院でリハビリテーションに励んでいる。Aさんは、後遺症による左片麻痺があり、左下肢の装具を装着し、右上肢で手すりや杖を使用して室内歩行が可能となっているが、立位の保持や歩行は不安定な状態である。外出時は車椅子を使用している。また軽度の嚥下障害があり、食事中にむせを起こしやすい。排泄は杖歩行で移動しトイレで介助なしで可能である。入浴はシャワーチェアを使用し、洗髪と背部・右上肢・足先を洗うことができる。浴槽の出入りの見守りと一部介助が必要である。

Aさんは、エレベーターのあるマンションの2階で75歳の夫と二人暮らしであるが、夫の健康状態に問題はなく、妻の退院後は自分が介護をしたいという意向をもっている。夫は家事をほとんどしたことがないため、現在修得中とのことである。

また、Aさんの自宅から自転車で10分ほどの近隣に娘夫婦と高校生の孫が暮らしているが、娘は、「何かあったら協力はするが、日々の介護は難しい」と話されている。まもなく退院予定となるAさんは入院中に要介護認定を申請し、要介護3の認定が出ている。退院後は降圧薬と抗血栓薬の内服が継続され、体調管理・内服管理のために訪問看護が導入される予定である。Aさんは、「早く家に帰りたい」と退院を楽しみにしている反面、麻痺のことを気にしており、家族はAさんを心配している。

問1 Aさんの状況を踏まえ、退院後にどのようなサービスを導入すればよいか。

「①Aさんの状況（身体状況や自宅・家族の状況）についてのアセスメント」を2つあげ、そのアセスメントに対応して「②導入を検討するサービスとサービス導入の目的」を右の欄にあげよ。

①Aさんの状況についてのアセスメント	②導入を検討するサービスとサービス導入の目的
	(サービス)
	(目的)
	(サービス)
	(目的)

問2 退院後に開始される訪問看護でAさんや家族に対して必要と考えられる援助を5項目あげよ。

問3 退院後、リハビリテーションによってAさんは杖による歩行が安定し、近隣の散歩程度ができるまでに回復してきた。しかし、Aさんは麻痺のことを気にして外出をしたがらない状態が続いている。訪問看護において、Aさんの外出を促すために必要と考えられる援助について述べよ。

**一般選抜・社会人特別選の受験者は  
本冊子（英語）に解答すること。**

2025年度  
武庫川女子大学 大学院  
看護学研究科 看護学専攻  
修士課程【後期募集】入学試験

**英語 問題解答用紙**

**一般選抜・社会人特別選抜**

2025年2月15日（土） 9:30～11:30

解答時間 120分：「英語」と「専門科目」と合わせて

**解答方法**

- 1 貸与した辞書のみ持ち込み可
- 2 問題解答用紙は、全部で2枚である。問題は各用紙に1問あり、第1問と第2問の全2問である。乱丁・落丁があった場合には申し出ること。
- 3 **一般選抜の受験者**：「第1問」・「第2問」全てに解答すること。  
**社会人特別選抜の受験者**：「第1問」・「第2問」のうち1問に解答すること。  
※ 選択した問題解答用紙には、用紙右上の所定欄に○をつけること。  
※ 社会人特別選抜受験者が2問とも解答した場合は、全ての解答を無効とする。
- 4 解答した問題解答用紙においては、受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 5 解答は、問題解答用紙の所定欄に記入すること。  
※ 所定欄以外（裏面）に書かれた解答は、無効とする。

**注意事項**

- 1 机上に各自の「受験票」を出しておくこと。
- 2 本冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 3 試験了後、全ての問題解答用紙を回収する。問題解答用紙を持ち帰らないこと。

貸与した辞書のみ持ち込み可

科目	英語（第1問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ）分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第1問**

次の英文を読み、以下の問いに答えよ。

Disasters occurring in various parts of the world have dramatic effects on individuals by causing significant losses at the national and international levels. Disaster is defined as a serious threat or major destruction that causes great losses and limits the functions and capabilities of the community in many ways. The WHO defines disaster as “an occurrence disrupting the normal conditions of existence and causing a level of suffering that exceeds the capacity of adjustment of the affected community. Today, disasters are increasing quantitatively and qualitatively with the effect of social, economic, and political phenomena and urbanization. Disasters affect various economic, social and political aspects of individuals and societies, and their consequences result in death, disability, material loss and reduced quality of life.

Disasters on earth, including disasters caused by climatic conditions, especially in the last 20 years, affect billions of people. In developing countries, the lack of adequate funding for readiness in case of disasters increases vulnerability in terms of health, economic and social care issues. ①Measures that should be taken by organizations to provide aid and healthcare services and reduce the risk of disasters are global challenges.

Every crisis, whether it be war, deadly epidemics, earthquake or flood, causes rare health problems, security problems, livelihood difficulties, individual, family and social problems. Every person affected by disasters needs ②vital and basic things such as water, shelter, a hygienic nation of the living environment and emergency medical assistance to survive. The losses have made it necessary to carry out studies related to the protection of people who have been damaged by disasters, to intervene in the areas where disasters occur and improve them.

問1 本文でWHOは災害をどのように定義していると述べているか、和訳せよ。

問2 災害が個人や社会に影響を及ぼした結果、何を引き起こすと本文では述べられているか。該当箇所を日本語で答えよ。

問3 下線部①と同じ意味を有する単語を以下よりひとつ選択し丸で囲め。

assays                      actions                      implications

問4 下線部②の具体例として本文で述べられていることを4つ日本語で答えよ。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

Reprinted from International Journal of Disaster Risk Reduction Volume 80, Filiz Tas a, Mehmet Cakir, Nurses' knowledge levels and preparedness for disasters: A systematic review, Introduction, 2022, with permission from Elsevier.

貸与した辞書のみ持ち込み可

科目	英語（第2問）	この問題を選択した場合は、右欄に○をつけて下さい。	
第一志望のコース・分野	看護学専攻 看護学研究コース ・ 看護学研究保健師コース （ ） 分野 (いずれかに○をつけて下さい)		
受験番号	氏名	一般選抜 ・ 社会人特別選抜 (いずれかに○をつけて下さい)	

**第2問**

次の英文を読み、以下の問1～4に答えよ。  
(前略)

The advent and adoption of new technologies have dramatically changed nursing practice over the past several decades, and will continue to do so into the future. Given the rapid acceleration of technical advances, nurses practicing in the coming decade will need to be adept at and comfortable with using emerging technology and have the skills to support others in doing the same. ①Nurses are well positioned to design, adopt, and adapt new technologies in practice and leverage data on SDOH\* to identify and address the needs of populations, individualize care, and reduce health disparities. With care expanding beyond the walls of traditional health care settings, including hospitals and clinics, the deployment of such ②advanced technologies as artificial intelligence and telehealth can assist nurses in connecting to health care networks, reaching individuals in their homes and other settings, and promoting health and well-being within communities. As key stakeholders in the design, adoption, and evaluation of new care tools, nurses also need to understand how to use new technologies to reduce rather than exacerbate inequities.

③Recommendation 6: All public and private health care systems should incorporate nursing expertise in designing, generating, analyzing, and applying data to support initiatives focused on social determinants of health and health equity using diverse digital platforms, artificial intelligence, and other innovative technologies.  
(後略)

\* SDOH : 健康の社会的決定要因 (Social Determinants Of Health)

問1 下線部①を和訳せよ。

問2 下線部②における「advanced technologies」は、どのような手助けとなりますか。該当箇所を和訳せよ。

問3 下線部②における「advanced technologies」の例として、本文中に示されているものについて、該当箇所を和訳せよ。

問4 下線部③の「Recommendation 6」として述べられていることを和訳せよ。

Used with permission of The National Academies Press, from The Future of Nursing 2020-2030: Charting a Path to Achieve Health Equity by Jennifer Lalitha Flaubert, Suzanne Le Menestrel, David R. Williams, Mary K. Wakefield, editors., 2021, permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.